

地域で育てよう桜の文化 ～日本一の桜名所づくり～

小松川千本桜を愛する会 / 江戸川区

江東デルタ地帯に位置する小松川地区は、低地で軟弱な地盤のため地震に対して危険な上、住宅及び工場などが混在密集した防災上危険な地区でした。これらの解消を目的として、東京都の市街地再開発事業と併せ、国の高規格堤防(スーパー堤防)整備事業が行われました。これにより生み出された広大なオープンスペースを活用し、千本の桜が咲き誇る桜の名所にしようと「小松川千本桜」が江戸川区により整備されました。

平成15年3月に完成した「小松川千本桜」は延長約2km、面積約5.9haの広範囲に、10種約1,000本の桜が咲き誇る桜の名所となりました。完成をきっかけに、地域の皆さんで「全国に誇れる桜の名所にしよう」と「小松川千本桜を愛する会」を平成16年12月に設立しました。

この会は連合町会をはじめ地域の団体で構成されており、活動が幅広く地域に浸透するように工夫されています。定期的に育樹大会や清掃活動が催され、また、桜の開花時期に合わせて毎年「小松川千本桜まつり」を開催し、地域外からも多数の来場者があります。希望する地域の団体に桜を割り当て、自分達の桜として愛着を持ちながら育てていく「桜のパートナー制度」を実施するなど、会の活動が地域の活動として定着し、コミュニティ形成の一役を担っています。

地域の防災拠点である都立大島小松川公園とも隣接しているため、防災訓練や地域のイベントなどの地域活動に接する機会があり、地域のシンボルとして広く認識されています。



海外からの視察者へ魅力を説明



小松川千本桜まつり



千本桜清掃活動



千本桜育樹大会



桜のパートナー制度

- ◆所在地
東京都江戸川区小松川1丁目～3丁目地先
- ◆活動内容
千本桜育樹大会(12月)、千本桜清掃活動(3月)、小松川千本桜まつり(3月)、桜のパートナー制度 など
- ◆活動主体及び連絡先
小松川千本桜を愛する会(03-3683-5183)
- ◆対象となる社会資本
小松川千本桜

